

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい者(児)の社会参加を通して、地域の人との理解を深め、共に支え合う事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ちやお 長野県茅野市湖東6525-1
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	661,945円 (うち支援金: 446,000円)

事業内容

障がい者と健常者が交流できる事業

- バリアフリーコンサート(吉田伊津子いきいきピアノコンサート) 第5回 10月25日(日)、第6回 2月6日(土)
- 柿収穫～加工 11月上旬から下旬
焼き芋交流会 3月10日(木)
地域の方々と一緒に柿の収穫や加工、焼き芋作りを行う共同事業



【 バリアフリーコンサート】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①バリアフリーコンサートでは、参加者延べ 170 人が同じ場で一緒に音楽を楽しむことで、お互いの理解が深まった。継続事業の効果が出ている。

②焼き芋・干し柿作りでは、地域の方々と共同作業を行い、信頼関係ができ障がい者を理解しようという気持ちの広がりが見えた。また、障がい者にとっても、ともに働く喜びを見出し、自信を持って社会参加できる活動となった。今後ともこの事業を継続・展開していく見通しが立った。

【目標・ねらい】

- ①相互理解の輪を広げる。
- ②共同(協働)作業による効果
- ③
- ④

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・コンサートには多くの参加があり、良い反響があった。
- ・共同作業を行ったことで、地域の方々、障がい者ともに良い効果が実感できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・バリアフリーコンサートの認知度はかなり上がっている。毎年、2～3回定期的に行いたい。同じ場所で、音楽を共有することで相互理解を深めていきたい。余暇活動の少ない障害者を楽しみの場を提供したい。
- ・共に生きる豊かな地域づくりを目指して、色んな分野の方々と協働できる機会を作っていきたい。地域の方々に教えていただきながら、農産物の加工を手がけ、障害者の働く場を作ってゆきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある